

地域活性化を考える

(1) 「背景・目的・概要」

【背景】地域の過疎化、相続問題が近年社会的に問題になっているが、それに対し発展している地域も存在する。その地域の活動・生産についてほかの地域との違いなどを考えていく。

【目的】

地域活性化には何が必要でどのような政策が望ましいか実際に現地へ訪問し、現在社会が抱える問題と正面から向き合う。地域の産業がどのように地域活性化と結びついているかを調べる。もし結びついていないのならば具体的な結びつきを考え、解決策を模索する。(今後ほかの地域でも応用が利くような解決策であると望ましい)

【概要】

地域活性化を考えるにあたり、北海道の地域の昆布漁業について考える。事前に昆布についての知識を自身らでつけ、その後北海道函館市南茅部町に足を運び、現在の南茅部の昆布漁業についてのお話を聞き、事前に調べた知識と照らし合わせ差異などを確認する。昆布漁業のアルバイトの体験もいただき、実際に昆布漁業の体験も行った。前半では、南茅部の昆布漁業の中でも「昆布の種類・昆布の養殖」についてのお話をいただいた。特に「昆布の養殖」については日本でも有数の昆布漁業である南茅部町の要であり、「昆布の養殖」についての長所・短所・現在問題になっているクロマグロの漁獲量などについて詳しく説明いただいた。後も実際に南茅部に訪問し、昆布漁業の体験をさせていただいた。体験したのは昆布漁業のほんの一部で、引き上げた昆布を干す作業だけであったが、昆布漁業の過酷さを体験した。

(2) 「年間スケジュール表」

【二年後期】

10月「テーマ決め」11月「南茅部訪問」12月「情報整理」1月「まとめ・発表」

【三年後期】

4月「後期方針決定」5月「事前調査」6月「南茅部訪問・体験」7月「まとめ・発表」

(3) 「プロセスと評価」

【プロセス】

「地域活性化を考える」というテーマのもとどこの地域活性化を考えるのが一番身近かを考え、自身らが住んでいる北海道の地域活性化を考えるのが一番良いという結論に至った。その中でも北海道が漁獲量1位の昆布漁業について、地域との結びつきをみた。昆布漁業によって地域の活性化は図られているのか、また地域に南茅部の昆布漁業のような中心的な産業がない場合との違いを、直接お伺いするにあたり質問を用意し、適切な質問をさせていただいた。また、作業の過酷さはその産業の継続や発展に大きく関わっているものとし、実際に作業の体験をアルバイトという形で体験させていただきその過酷さを体験させ

ていただいた。

【成果】

結論から入るが、「地域活性化を考える」というテーマの中で南茅部の昆布漁業は十分に地域の活性化の役割を担えているが、あと一押しが足りないというのが現状である。確かに昆布漁業によってかなりの生産活動がなされているが、お話を伺ったところクロマグロの捕りすぎや、相続問題などの暗い話も多かったのは事実であり、良い面もあれば、悪い面もあるというのが現状である。日本で食されている昆布の多くは中国産であり、品質はともかくとして値段は中国産のほうが安い。これは中国で強大な昆布漁業が成り立っているからであり、日本の昆布は現在窮地に立たされている。このままでは今後地域活性化にはつながらなくなってしまう恐れがある。

(4)「統括と反省・今後の課題」

【統括と反省】

「地域活性化を考える」上でその地域特有の生産はその地域の活性化に大きく貢献する。その一方でその生産がほかの地域の生産活動に負けてしまうとその地域の地域活性化が後退してしまう恐れがある。南茅部の昆布漁業では様々なお話をいただき、南茅部での昆布漁業の利点や特徴、または問題などのお話を伺うことができた。反省としては南茅部の昆布漁業についての事前知識が足りなかったために現地での質問の内容が単純なものとなってしまい、その場で話を聞いたものに対しての質問が中心になってしまったことである。今後は事前に現地のデータを集め、質問内容をより精密に練ってからお伺いすべきである。それに加え、南茅部の昆布漁業以外にも中国の昆布漁業についても事前準備があれば具体的にどこの昆布漁業を注目しているかなどの質問もできたので、全体的に準備不足であった。

【今後の課題】

今後の課題として事前の調査は現地周辺だけではなくテーマ関連のものをグローバル的に調べる、質問内容をより練っておくことなどがあげられる。テーマである「地域政策を考える」について今回の改善点はこの昆布漁業に対して具体的な活性化につながる案を出せなかったことである。確かに昆布漁業が活発になれば地域活性化につながるかも知れないが、その具体案を提示できないのが今回の反省点である。

(5)「地域からの評価」

平成 30 年 7 月 1 日(日)コンブ漁解禁日漁を終えて浜に戻っての作業体験についての感想
長靴持参かつ作業しやすい服装で、礼儀も正しく大変良かった。

良くも悪くも、浜の子と町の子の違いを感じた。

漁業 齊藤泉様

(6)「メンバー一覧」

メンバー 上田舟那 宮石知樹 白坂征弘 佐藤励 担当教員 加藤晃

協力機関等：「南かやべ漁業協同組合」、漁業 齊藤泉様